

2024年6月吉日  
世界自動車調査月報編集長 安藤 久史

## 2023年世界自動車販売は9.7%増の8,815万台、製品不足解消がプラス要因

さて、当社では『FOURIN 世界自動車調査月報』2024年6月号(2024年6月10日発刊)にて、「2023年世界自動車販売」をテーマとしたレポートを取りまとめましたので、ご案内を申し上げます。

- 世界86ヵ国自動車販売台数合計は前年比9.7%増の8,815万台
- 対2019年比(9,207万台)では4.3%減と、コロナ禍前の水準まで回復しつつある状況
- 上位15ヵ国では、ロシアとトルコが前年比で50%を超える増加幅で急速に回復

FOURINが2023年の世界86ヵ国の自動車販売台数を集計したところ、前年比9.7%増の8,815万台となりました。物価高や金利の上昇などがマイナス要因となったものの、欧米先進国で製品供給不足が解消したことがプラス要因となり、2年ぶりに増加に転じました。対2019年比(9,207万台)では4.3%減と、コロナ禍前の水準まで回復しつつあります。

国別(2023年)では、上位15ヵ国全てで前年実績を上回りました。首位中国(前年比6.1%増の2,608万台)は、中央政府による乗用車の買い替え支援、農村部での新エネルギー車(NEV)販促強化などの各種政策が増加基調を下支えました。2位米国、3位インド、4位日本、5位ドイツと続きました。上位国の中では、ロシアとトルコが前年比で50%を超える増加幅となりました。ロシア-ウクライナ戦争による欧米日韓系自動車メーカーの生産撤退で2022年に市場規模が大きく落ち込んだロシアは、反動増により同62.9%増の132万台へと回復し、前年の19位から13位まで浮上しています。

グループ別(2023年)では、トヨタ(Subaru除く)が同6.6%増の1,131万台と、唯一1,000万台を超えました。2位VW(同10.0%増の905万台)は4年連続で1,000万台を下回っています。

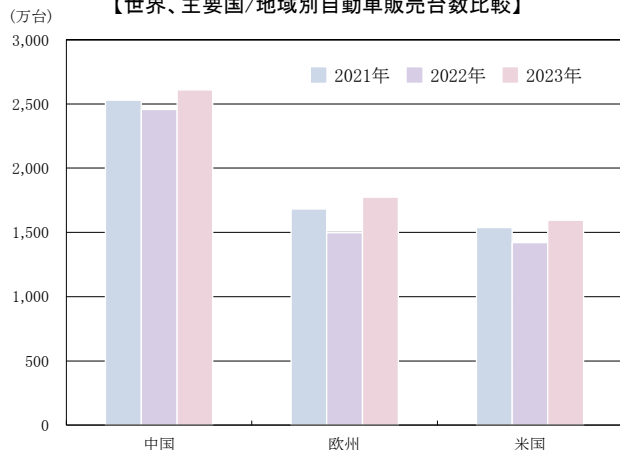
2024年は新興国での需要拡大もあり5年ぶりに9,000万台超へと回復する見込みですが、高止まりするローン金利や景気の先行き不安、製品価格の上昇、米中対立によるサプライチェーンの再編などが懸念材料に浮上しており、ピークの2017年(9,622万台)水準を上回るまで市場が拡大するのは2027年以降となる可能性が高いとみています。

ご参考までに、『FOURIN 世界自動車調査月報』2024年6月号に掲載しますグラフを下記に紹介いたしました。

当プレスリリース内容に関してのご不明な点やご質問は、『FOURIN 世界自動車調査月報』編集長の安藤(TEL:052-789-1143、FAX:052-789-0966、E-mail:h.ando@fourin.com)までご連絡ください。

敬 具

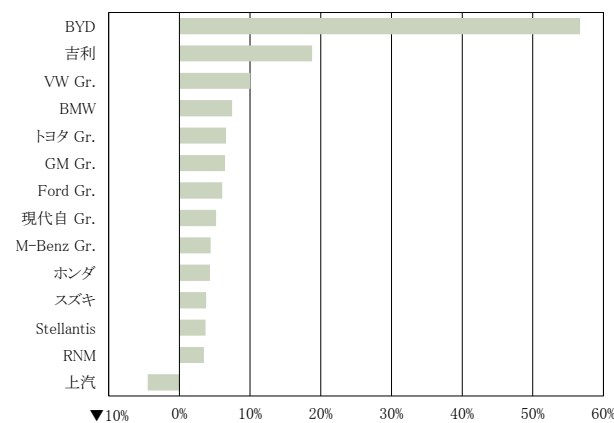
【世界、主要国/地域別自動車販売台数比較】



注)米国はバスを含まない。欧州はEU+EFTA+英国。

(各国自工会およびそれに準ずる機関のデータ、各社広報資料、各種報道よりFOURIN作成)

【世界、主要グループの自動車販売台数増減率比較(2022/2023年)】



注) RNM=Renault/日産/三菱自(Ladaは含まない)。

(各国自工会およびそれに準ずる機関のデータ、各社広報資料、各種報道よりFOURIN作成)